

社会的企業研究会、東北公益文科大学共催 日英共同研究シンポジウム

地域再活性化に向けて 求められる社会的企業の役割と課題

2008年6月23日(月) 15:00~17:00 ※逐次通訳つき

主婦会館プラザエフ 5F 会議室(東京・四ツ谷)

趣 旨：

近年、日本においても福祉や、まちづくりの分野など各方面で、社会的企業の活動と役割がクローズアップされています。東北公益文科大学大学院公益総合研究所は、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業の助成を受け、社会的企業などを含む「公益ビジネス」の研究を進めています。2007年9月、スコットランドに近いイングランド北東部の街、ミドルズブラにあるティーズサイド大学付属の未来社会研究所所長、トニー・チャップマン教授のコーディネートにより、地方都市における社会的企業の活動や取り組みの現地調査・研究を行いました。

ミドルズブラは人口約14万人。1980年代ごろまでは炭鉱山採掘、積み出しと、世界最大級の製鉄企業、化学企業の操業により、繁栄しましたが、エネルギー革命による炭鉱閉山、操業企業のリストラにより、失業問題や街の復興など大きな課題を抱えています。

東北公益文科大学公益総合研究所のある山形県鶴岡市の合併後の人口はミドルズブラと同じ規模です。庄内地方は首都圏との経済格差や、中心市街地の活性化など全国の地方都市が直面している共通の課題を抱えています。今回は特に日英共通の課題である地域再活性化について、社会的企業の役割と課題を考えたいと思います。

講師プロフィール

◇トニー・チャップマン博士 (Dr Tony Chapman)

ティーズサイド大学(University of TEESIDE)社会科学・法律学部教授。
2002年より未来社会研究所(Social Futures Institute)所長。専門は社会学(社会政策)。イングランド北東部における社会的企業やボランティア・コミュニティ・セクターの研究等を行っている。コミュニティの再活性化に関する政策立案をはじめ、労働市場に関する調査の実施や政府の地域再生事業のベスト・プラクティス評価にも携わる。関係書籍や論文の執筆多数。



◇ジュディス・ブラウン氏 (Judith Brown)

未来社会研究所(Social Futures Institute)客員研究員。2005年より同研究所社会的企業支援部門の分野主任を務める。本業はコンサルタント。約15年間社会的企業に従事した経験を生かし、公的部門や私企業、社会的企業に対する業務支援や提言等を行っている。研究者・実務家の他にも、現在2つの社会的企業において役員や理事を務めるなど幅広く活躍している。

◇ベス・バクスター氏 (Beth Baxter)

未来社会研究所研究員。2006年ティーズサイド大学修士課程修了(社会調査法)。2007年より同研究所社会的企業支援部門の研究助手を務めている。主として保健衛生分野(社会保障政策、ジェンダー、社会的弱者の自立支援等)を中心に研究を行っている。

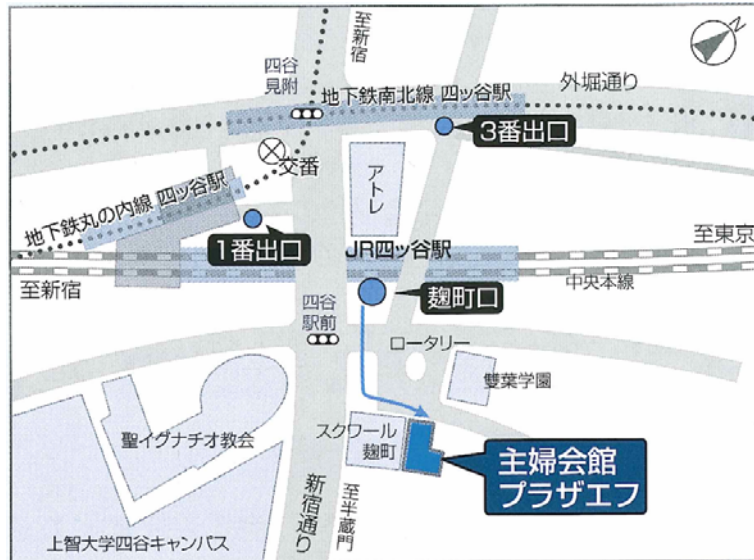
- プログラム.....
- 15:00 主催者挨拶 東北公益文科大学 渋川智明 氏 (進行)
 - 15:10～16:00 基調講演 「独自性と相違性：なぜ社会的企業は、営利企業、行政、ボランティア・セクターにとって真のビジネス・パートナーとして受け入れられないのか：北東イングランドの事例から」
トニー・チャップマン教授
 - 16:00～16:30 講演 「北部イングランドにおけるサードセクター：その現状と資金環境の転換期における成功の可能性」
ジュディス・ブラウンさん
 - 16:30～17:00 質疑討論 チャップマンさん、ジュディスさん、ベスさんに対して
-

参加費：500円 (資料代として)

会場地図:

住所：〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地

交通： JR 総武線・中央線，東京メトロ「四ッ谷」駅下車麴町口出て徒歩 3～4 分



お問い合わせ・お申し込み：申込用紙にご記入の上，ご送付下さい。

市民セクター政策機構

行き

記入日： 月 日

FAX: 03-3325-7955 Mail:civil@prics.net

6/23 社会的企業研究会 参加申込書

団体名			
連絡先	Tel:	e-mail:	
お名前		役職	

※参加証は発行していません。当日、下記会場まで直接お越し下さい。